

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	盟和産業株式会社					
代表者名	氏名	飯塚 清	役職名	取締役社長		
主たる事務所の所在地	神奈川県厚木市寿町3-1-1 ルリエ本厚木					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	自動車内装部品の製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,748	2,665	2,747		
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6,196		6,176		
	調整後排出量 t-CO ₂	6,196	6,010	6,176		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0		
自動車の台数	台	13		13		
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2023 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

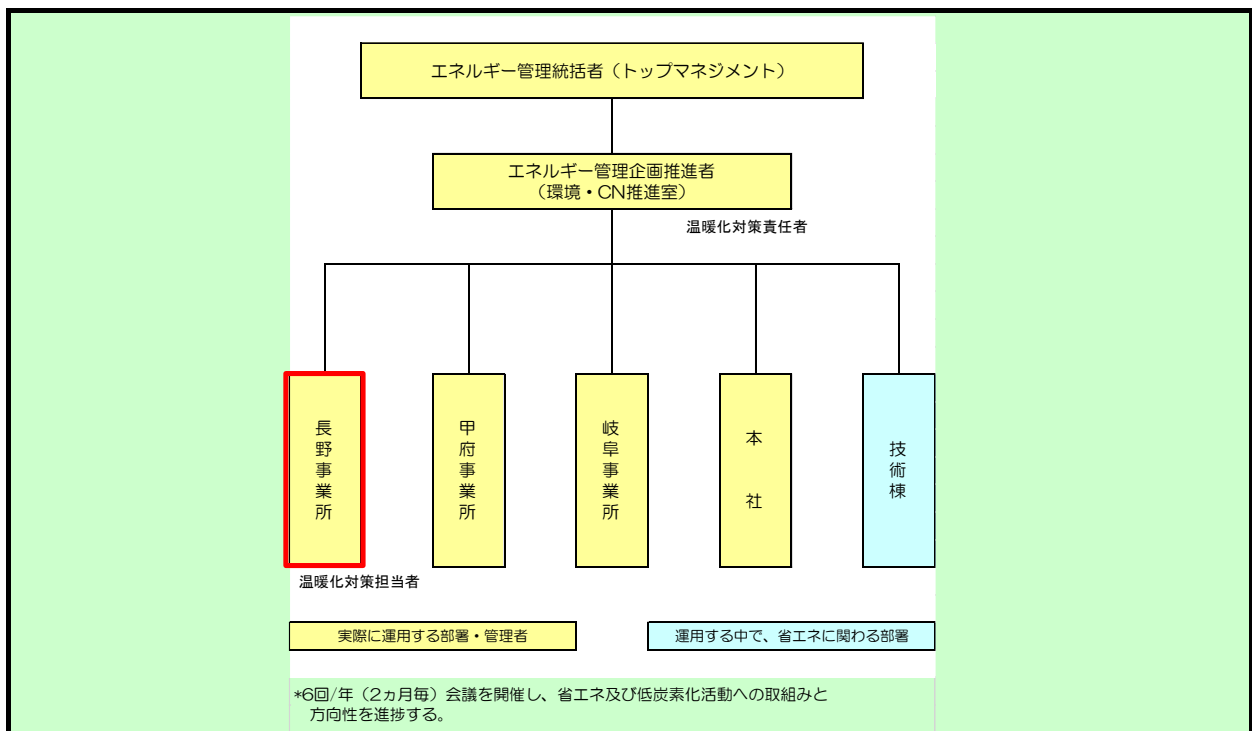
<input type="checkbox"/>	ホームページ	長野事業所の管理課（総務担当）で閲覧可能です。又、閲覧に関しては、事前連絡をお願いします。但し、受付対応時間を月曜～金曜のAM10:00～PM4:00とさせていただきます。（連絡先電話番号 0265-43-3111）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式 1 号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

環境方針（2022年4月1日）より、 1. 環境法令と利害関係者との約束を守り、透明性の高い情報によるコミュニケーションで社会との協調・共生を目指します。 2. 営業、設計、開発、調達、製造、引き渡しから破棄されるまで、全てのプロセス（ライフサイクル）において環境負荷の低減と資源の有効活用を実践し、低炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に貢献します。 3. 組織的な環境改善と事業目的を結び付け、環境にやさしい製品づくりで未来に通じる豊かな社会に貢献します。						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	2013年度比 CO2排出量50%削減
削減計画の概要	Scope1 A重油、LPGガス 使用量削減、高効率機器導入 Scope2 自社電力の削減、再エネルギー（太陽光発電）導入					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/> その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー委員会	6回/年	奇数月に開催
生産月報にて月度の使用状況報告・管理		

6 の 1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,196	t-CO ₂	売上金額	51.62	単位	億円
2022 年度	調整後排出量	6,196	t-CO ₂	基準原単位	120.03	t-CO ₂ /	億円
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	6,010	t-CO ₂	目標原単位	116.43	t-CO ₂ /	億円
2025 年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	エネルギー管理指定工場であり、1%/年以上の原単位の削減をめざす。						
第一年度	排出量	6,176	t-CO ₂	売上金額	54.75	単位	億円
	削減率	0.32	%	原単位	112.80	t-CO ₂ /	億円
2023 年度	調整後排出量	6,176	t-CO ₂	原単位削減率	6.02	%	
	削減率	0.32	%				
排出量等の増減理由	売上金額は、基準年度対比6.1%増加し、年間削減率の目標▲1%は▲0.32%で未達成。 しかし、売上高原単位では、削減率▲6.02%と大きく達成しております。 減少の理由としては、A重油、LPG、電力の使用量が減りエネルギー使用設備の効率良い運転稼働が効いていると思われます。						
第二年度	排出量		t-CO ₂	売上金額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	売上金額		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	ボイラ	2台⇒1台へ更新 (高効率ボイラー)	2023～ 2025	150		
2	エネ起	受変電・配電設備	変圧器統合・更新	2023～ 2025	200	2023	6
3	エネ起	照明設備	LED化更新	2023～ 2025	20	2023	28.3
4	エネ起	コンプレッサ	高効率コンプレッサーへ更新	2023～ 2025	20		
5	エネ起	生産設備	保全管理（エアリー漏れ、蒸気漏れ等）	2023～ 2025	20	2023	3.9
6	エネ起	生産設備	生産計画の効率化	2023～ 2025	20	2023	10
7	自動車		フォークリフトEV化	2023～ 2025	5	2023	5
8	エネ起	生産設備	チラーユニット更新			2023	6
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書（再エネ指定）	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	6,196	1	6,176				
1,500kl未満								
合計	1	6,196	1	6,176				

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0		
CH ₄	0	0		
N ₂ O	0	0		
HFC	0	0		
PFC	0	0		
SF ₆	0	0		
NF ₃	0	0		
合計	0	0		

1 3 次世代自動車の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0		
電気自動車	0	0		
燃料電池自動車	0	0		
クリーンディーゼル自動車	0	0		
その他 (ハイブリッド等)	1	1		
合計	1	1	0	0
自動車総数	13	13		
次世代自動車導入割合	7.7	7.7		

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張時の公共交通機関の利用促進
自転車の利用促進	近距離通勤者促進
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	WEB会議、TV会議の利用による出張者低減
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	導入なし（導入検討中）
物流の合理化	積載効率UP、納入先集約

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
<input type="checkbox"/>	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	
<input type="checkbox"/>	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
<input checked="" type="checkbox"/>	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 I S O 1 4 0 0 1	2001
<input type="checkbox"/>	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/>	ZEB	の認証を取得している	
<input type="checkbox"/>	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	
<input type="checkbox"/>	その他		

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）

<p>2023年11月より環境・CM推進室を新たに設置し、カーボンニュートラル・省エネに特化した専門部署を立上げ、まずは従業員、社内協力企業に向けた自覚教育を行い従業員の意識改革に努め、省エネ委員会の運営を行った。</p> <p>長野工場特有の製品（塩化ビニール自動車用マット等の製品）へ、社内で発生する端材、ロス材のリサイクル量の増量及び、他社（市場回収含む）で発生した端材・ロス材を当該製品へ添加する配合技術を増やした事により、購入する材料の使用量及び、そのCO2排出量（スコープ3）を削減した。</p>
--